

6月16日(土) 沼津9:00 出発 5.9Km三島へ。20人の行進、小さくてもほんまに輝いている人々。かがやけ命の行進・三島集会、地元12人、行進団8人、計20人

小さくてもかがやく集会に感謝、心、また、洗われる。集会後、宿舎へ、勝又支部長が迎えにきて下さる。

## 集会での発言

「少年に夢を、青年に雇用を、障害者に光を、高齢者に安心を、」のスローガンがよい。とくに最後に「高齢者に安心を」とあるのが、世代間の連帯、他の人のことも大切にするという、年金者組合の位置づけが伝わってくる。

今日、医療介護難民といわれる時代から、死に場所がない、死に場所難民、「無縁多死」社会へとなってきた。しかし、悪政は必ず変革できる。しなければならない。年金者組合と力を合わせて、私たちも頑張る。(民医連、静岡健生会、松本豊年さん)

毎月23日イトーヨーカ堂前で、消費税なくせ、の宣伝を取り組んできた。共感は広がってきている。ウソで固めたマニフェスト、怒りも大きい、私は術後、月3回通院しており、毎回約15,000円要する。生きていく限り闘っていく。(民商、消費税なくす会、加藤武行さん)

毎月25日宣伝を続けてきた。2月市議会では、前回一致で「年金下げな、」の意見書が採択された。街頭宣伝での反響はすごいと、年金者組合三島支部長、勝又武久さん。

組合員の茅野根明さんがハーモニカ演奏、一緒に声を出す。「富士の山」「野に咲く花のように」「手のひらを太陽に」「青い山脈」

兵庫・加守さんが帰り、福原兵庫県本部書記長・賀皮さんが合流。

## 行進雑感 越堂

そろいのTシャツを着て、のぼりと横断幕を掲げて行進すると、沿道の人、通行人の関心を大きく引きます。

「大阪を出発して東京まで行きます」と伝え、皆さん一様に驚いて、ガンバッテ！ 気をつけてと声をかけてくれます。行進していてうれしくなるときです。行進してきて良かったと感じます。

私たち通し行進者を迎えて、一緒に行進する地元の年金者組合の人たちには、本当に感謝します。準備や、気使いも大変だと思います。地元の取組で感じたのは、支部組織の大小、強弱により異なるのですが、今回の行進を積極的に受け止め、活動の活発化と、組織の拡大に取り組んでいる所が、さまざまな成果を挙げているように思います。

訪問した自治体では、年金者組合のHPを、よくみていて、30年ぶりの行進だとか、など、私たちの「命の行進」に関心を寄せていることが、よくわかりました。

桑名市役所での、50人を越える職員の方たちの出迎えには、感激しました。

以上